

特定非営利活動法人こころのまま 設立趣旨書

1 趣 旨

発達障害を抱えるわが子がまだ幼かった頃。幸せな時間を過ごしながらも、一歩外に出ると誰かに迷惑をかけて謝ってばかりで、悲しい気持ちになることもありました。現実を受け入れたくない気持ちや自分を責める気持ちなど、様々な感情に押し潰されそうでした。

同じ悩みを持つ保護者や理解者との出会いをきっかけに、気持ちが楽になるコミュニティの必要性を感じました。「まずは私たちのことを知ってもらおう」「『ごめんなさい』ではなく『ありがとう』の言葉をたくさん使おう」「大切な人が『自分らしく生きられる』ように、今できることを精一杯やろう」と考え、2017年に「障害者のしごとを考える母の会」を設立しました。

子どもたちの将来の「しごと」「やりがい」「自分らしく過ごせる場所」を見出すため、身近な支援者である母たちが、研修の受講や資格取得などスキルアップをしながら、子どもたちの作品展やお仕事体験・音楽コンサートなど、誰もが気軽に関わることができる活動を進めることで、現在は前向きな時間を過ごすことができています。

その一方で、当事者家族や福祉関係者との関わりがほとんどで、一般の方々との距離はなかなか縮まらない状況にもありました。こうした課題の解決を目指すため「障害者のしごとを考える母の会」に加えて、ものづくり・デザイン・福祉・医療・教育・子育てなどの様々な分野で活動するメンバーで構成する任意団体「こころのまま」を2020年に設立。表現活動を通じた企業や地域の方々との繋がりの強化、障害者の就労や役割づくり、障害者をサポートする人材の育成などを目的として表現活動や展示会・講演会などを実施することで、地域や企業との繋がりが少しずつ生まれてきています。

令和3年度の文部科学省の調査によれば、全国の小・中学生の約5.6%が、何らかの障害により特別支援学校や支援学級への通学や通常学級で通級による指導を受けているとのこと。社会的な課題である障害児者の生活の質の向上や働く環境の整備のために、私たちのこれまでの経験を活かし、次世代の親子や様々な障害を抱える人たちの一助になりたいと強く願っています。

こうした背景がある中で、任意団体として実施してきた活動や事業を行政や関連団体との連携を深めながら充実させ継続的に推進していくためには、社会的に認められた公的な組織である特定非営利活動法人格を取得することが最適であると考え、今回の法人申請に至りました。法人格として公正かつ透明性の高い事業運営をすることで、当団体の活動に多くの市民に参画いただき、障害児者の生活の質の向上や働く環境の整備に関する様々な事業を展開していきたいと考えています。

2 申請に至るまでの経過

- 2017年6月 任意団体「障害者のしごとを考える母の会」を設立
- 2020年1月 任意団体「こころのまま」を設立
- 2022年10月 特定非営利活動法人のための勉強会開催
- 2022年11月 発起人会開催
- 2022年11月 設立総会開催

2022年11月16日

特定非営利活動法人こころのまま
設立代表者 沼田 潤